

小児科

横田 俊平 上席副院長・医療局長（国際医療福祉大学教授）

(よこた しゅんぺい)

【専門分野】小児科学・小児感染症・小児リウマチ膠原病

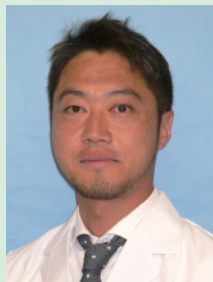
横浜市立大学名誉教授、横浜市立大学卒、医学博士
前横浜市立大学医学部小児科教授、前横浜市立大学大学院医学研究科教授、前横浜市立大学医学部長、前日本小児科学会理事長
日本小児科学会認定指導医・小児科専門医・評議委員、日本リウマチ学会認定指導医・リウマチ専門医・理事、日本感染症学会認定指導医・感染症専門医、日本アレルギー学会アレルギー専門医・評議委員、日本小児感染症学会評議員、日本小児リウマチ学会運営委員、日本臨床免疫学会名誉会員、日本臨床リウマチ学会評議員

上席副院長・医療局長として横田俊平教授が着任しました



地域医療に徹する、総合診療の実現、医療は院内・院外のネットワークで動かすものであり、特に小児医療は、次世代の人間の育成にかかわる重要な仕事であると考えています。24時間365日の小児科救急医療体制と共に小児科医療の充実を図ります。小児科全般と主にリウマチ性疾患、免疫不全、重症感染症などの疾患を診察致します。SLE、慢性関節炎（JRA）、皮膚筋炎約、ベーチェット病、全身性皮膚硬化症などの小児科リウマチ性疾患の治療経験があります。JRAの関節炎に対して初期からMTXを中心とした多剤少量併用療法、また川崎病の大量ガンマグロブリン無効例に対する血漿交換療法などを積極的に行っています。

消化器内科



土方 康孝

(ひじかた やすたか)

国際医療福祉大学講師

愛知医科大学卒、医学博士
前愛知医科大学病院消化器内科助教
日本内科学会認定内科医、日本消化器病学会専門医、日本消化器内視鏡学会専門医
日本がん治療学会認定医

【専門分野】消化管、内視鏡



山口 純治

(やまぐち よしはる)

愛知医科大学卒
前愛知医科大学病院医員助教
日本内科学会認定内科医

消化器内科に新たに土方講師、山口医師の2名が常勤医として着任しました

充実した診療体制を整え、消化器内科領域全般と、主に食道・胃・大腸・小腸の消化管分野での診断、治療を行います。特に内視鏡治療を専門に行っており、患者様に苦痛のない安心、安全な治療を心がけています。

呼吸器外科



加藤 暢介

(かとう のぶすけ)

国際医療福祉大学講師

東海大学卒
前東海大学医学部外科学系呼吸器外科助教、日本外科学会認定外科専門医、日本呼吸器外科学会認定呼吸器外科専門医、日本がん治療学会認定医、肺がんCT検診認定機構肺がんCT検診認定医、日本医師会認定産業医

呼吸器外科に加藤講師が着任しました

これまでご不便をお掛けした手術・入院を再開致します。呼吸器外科疾患全般の診察はもちろん、当院では低侵襲手術を積極的に取り入れ、原発性肺癌・気胸・転移性肺腫瘍・縦隔腫瘍に対する胸腔鏡手術を完全鏡視下で行います。そのなかで、肺がん術後の再発防止を目的とした補助化学療法についても積極的に取り組んでいます。

医学としてのリハビリは単なる運動でも精神論でもなく、根拠に基づいた科学です。重症で意識がなくても立たせることもあれば、場合によってはあえて頑張らせず運動を制限することもあります。そのように様々な疾患の様々な病態に対し、患者様を中心に病院スタッフ・ご家族が一丸となり予想されるゴールをなるべく早期に達成できるようリハビリを提供したいと考えております。最新の脳卒中リハビリとして世界で注目され、近年様々なメディアでも話題になっている反復性経頭蓋磁気刺激（rTMS）という研究的治療を前職場に続き当院でも開始します。急性期でも、逆に数十年経過した慢性期でも、麻痺や失語症等認知機能が改善することがわかっております。また、2010年より我が国でも使用可能になったボトックス注射も積極的に開始します。これは脳卒中や脊髄損傷による硬くなるタイプの麻痺（痙縮と言います）を改善させることができます。これらのrTMS、ボトックス注射、内服薬を組み合わせたより効果の高い治療も施行しますのでまずはご相談ください。

リハビリテーション科



佐々木 信幸

(ささき のぶゆき)

国際医療福祉大学准教授

東京慈恵会医科大学卒、医学博士
前東京都立墨東病院リハビリテーション科医長、東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座講師
日本リハビリテーション医学会指導医・リハビリテーション科専門医・認定医、厚生労働省義肢装具適合判定医

リハビリテーション科に佐々木准教授が着任しました